

平成 19 年 12 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 10 月 31 日

上場会社名 株式会社ベルパーク 上場取引所 JASDAQ
 コード番号 9441 URL <http://www.bellpark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 西川 猛
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 石川 洋 TEL (03) 3288-5211

(百万円未満切捨)

1. 平成 19 年 12 月期第 3 四半期財務・業績の概況(平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 12 月期第 3 四半期	23,395	(34.4)	1,646	(186.3)	1,646	(182.0)	817	(162.9)
18 年 12 月期第 3 四半期	17,404	(△3.6)	575	(△21.3)	583	(△20.5)	310	(△15.3)
18 年 12 月期	24,356		1,076		1,087		557	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 12 月期第 3 四半期	12,790	33	12,706	00
18 年 12 月期第 3 四半期	4,936	74	4,903	23
18 年 12 月期	8,847	24	8,799	50

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
19 年 12 月期第 3 四半期	8,943		4,722		52.8	73,435	69	
18 年 12 月期第 3 四半期	5,898		3,640		61.7	57,730	63	
18 年 12 月期	7,789		3,884		49.9	61,599	13	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19 年 12 月期第 3 四半期	278		△240		20		1,956	
18 年 12 月期第 3 四半期	414		△10		△160		1,761	
18 年 12 月期	553		△11		△161		1,897	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
18 年 12 月期	—	—	1,300	00	1,300	00
19 年 12 月期	—	—	—	—	—	—
19 年 12 月期(予想)	—	—	1,300	00	1,300	00

3. 平成 19 年 12 月期の連結業績予想（平成 19 年 1 月 1 日 ～ 平成 19 年 12 月 31 日）

最近の業績動向を踏まえ、平成 19 年 8 月 2 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正しております。なお、詳細につきましては、添付資料 4 ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	30,300	(24.4)	1,900	(76.6)	1,900	(74.7)	920	(65.0)	14,306	45

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無

(2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有

(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：有

〔(注)詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来における記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期における我が国経済は、企業収益、雇用情勢の改善に加え、当社グループの業績に強い影響をもつ個人消費も持ち直す等比較的堅調に推移しました。このような経済状況のもとで、当社グループでは、移動体通信機器販売事業における収益力の強化、人材サービス事業の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期における業績は、売上高23,395百万円(前年同期比134.4%)、営業利益1,646百万円(同286.3%)、経常利益1,646百万円(同282.0%)、四半期純利益817百万円(同262.9%)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりであります。

(1) 移動体通信機器販売事業

移動体通信機器販売業界においては、各通信事業者が多数の携帯電話端末を新たに発売する等の積極的な施策を展開しました。その結果、携帯電話端末の新規加入の需要がふくらみ、市場全体の加入者純増数は前年同期の363万回線を上回る439万回線となりました。当社が主力として取り扱うソフトバンクは、多機種・多色の携帯電話端末の発売、斬新な料金プランの導入及び店舗数の増加等の積極的な施策を展開しました。その結果、ソフトバンクは、加入者純増数で5月から5ヶ月連続の首位となりました。

このような環境の中で、当社グループでは、店舗への来客数を増加させるために積極的な販売促進活動を展開するとともに、ソフトバンクモバイル株式会社の積極的な出店施策に沿い、当第3四半期までにソフトバンクショップ15店舗を新規出店し、今後の収益力の強化に努めました。

当第3四半期における移動体通信機器販売事業の売上高は21,915百万円(前年同期比136.5%)、営業利益は1,989百万円(同209.4%)となりました。

(2) 人材サービス事業

人材サービス事業の主力である携帯電話販売スタッフの派遣においては、通信事業者の出店拡大施策の影響等で、携帯電話販売代理店各社への派遣需要は引き続き堅調に推移しました。一方では、労働者にとって雇用環境が好調なこともあり、派遣スタッフの確保が難しい状況となりました。

このような環境の中、当社グループでは、当第3四半期において需要の見込める東海地区に営業所を開設いたしました。当第3四半期は拠点拡大等に伴い、人材派遣者数が順調に伸びたため、売上高は増加し、営業損益もわずかながら黒字となりました。

当第3四半期における人材サービス事業の売上高は1,425百万円(前年同期比128.6%)、営業利益は0百万円(前年同期は営業損失11百万円)となりました。

(3) その他事業

固定通信回線等の加入取次ぎを主とするその他事業においては、今年2月に新宿コールセンターを千代田区に移転させ、その規模を大幅に縮小して効率的な運営に努めました。

当第3四半期におけるその他事業の売上高は168百万円(前年同期比39.7%)、営業利益は13百万円(前年同期は営業損失60百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて1,154百万円増加し8,943百万円となりました。流動資産については、たな卸資産が840百万円増加したこと等により、7,291百万円となりました。また、有形固定資産が176百万円、投資その他の資産が93百万円増加したこと等により、固定資産は269百万円増加し、1,651百万円となりました。流動負債については、未払法人税等が384百万円、賞与引当金が109百万円、短期解約損失引当金が82百万円増加しましたが、買掛金及び営業未払金が381百万円減少したこと等により、313百万円増加し、4,133百万円となりました。固定負債については、大きな変動はありません。純資産については、四半期純利益817百万円を計上したこと等により、838百万円増加し、4,722百万円となりました。この結果、自己資本比率は52.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は1,956百万円となり、前連結会計年度末と比較して58百万円の増加となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は278百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益1,669百万円、減価償却費58百万円、売上債権の減少額140百万円、賞与引当金の増加額109百万円、短期解約損失引当金の増加額82百万円であり、主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額850百万円、仕入債務の減少額381百万円、法人税等の支払額576百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は 240 百万円の支出となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却による収入 115 百万円であり、主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出 180 百万円、敷金の差入れによる支出 187 百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は 20 百万円の収入となりました。主なプラス要因は、株式の発行による収入 65 百万円、自己株式の処分による収入 37 百万円であり、主なマイナス要因は、配当金の支払額 81 百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 19 年 8 月 2 日付「平成 19 年 12 月期中間期及び通期(連結・単独)業績予想の修正に関するお知らせ」により公表いたしました業績予想は、本資料にて修正しております。なお、業績予想に関する事項につきましては、本日平成 19 年 10 月 31 日公表の「平成 19 年 12 月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用の計算については、法定実効税率をベースとした簡便的な方法によっております。その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であります。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1) (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成18年12月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産	4,527,661	7,291,983	2,764,322	61.1	6,406,996
現金及び預金	1,761,661	1,956,051	194,390	11.0	1,897,932
売掛金及び営業未収入金	1,864,743	2,828,971	964,227	51.7	2,969,299
たな卸資産	753,172	2,232,957	1,479,785	196.5	1,392,184
その他	148,083	274,002	125,918	85.0	147,580
II 固定資産	1,371,021	1,651,931	280,910	20.5	1,382,749
有形固定資産	335,810	495,030	159,220	47.4	318,133
無形固定資産	32,338	29,168	△3,170	△9.8	30,135
投資その他の資産	1,002,872	1,127,732	124,859	12.5	1,034,480
資産合計	5,898,682	8,943,915	3,045,232	51.6	7,789,745
(負債の部)					
I 流動負債	2,173,186	4,133,673	1,960,487	90.2	3,820,622
買掛金及び営業未払金	1,351,003	2,277,873	926,869	68.6	2,659,594
その他	822,182	1,855,800	1,033,617	125.7	1,161,028
II 固定負債	85,194	87,835	2,641	3.1	84,886
負債合計	2,258,380	4,221,509	1,963,128	86.9	3,905,509
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,090,878	1,123,576	32,697	3.0	1,090,878
2. 資本剰余金	1,545,286	1,586,166	40,880	2.6	1,545,286
3. 利益剰余金	1,209,866	2,191,827	981,960	81.2	1,456,454
4. 自己株式	△208,036	△179,164	28,872	△13.9	△208,036
株主資本合計	3,637,995	4,722,405	1,084,410	29.8	3,884,583
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券 評価差額金	2,306	—	△2,306	—	△346
評価・換算差額等合計	2,306	—	△2,306	—	△346
純資産合計	3,640,302	4,722,405	1,082,103	29.7	3,884,236
負債純資産合計	5,898,682	8,943,915	3,045,232	51.6	7,789,745

(2) (要約)四半期連結損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成18年12月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	17,404,474	23,395,093	5,990,618	34.4	24,356,373
II 売上原価	13,751,397	18,085,525	4,334,127	31.5	19,159,840
売上総利益	3,653,077	5,309,568	1,656,490	45.3	5,196,532
III 販売費及び一般管理費	3,077,970	3,662,880	584,910	19.0	4,120,374
営業利益	575,107	1,646,687	1,071,580	186.3	1,076,157
IV 営業外収益	18,316	10,697	△7,618	△41.6	27,444
V 営業外費用	9,765	11,297	1,531	15.7	15,732
経常利益	583,657	1,646,087	1,062,429	182.0	1,087,870
VI 特別利益	31,315	30,736	△578	△1.8	39,732
VII 特別損失	32,788	7,069	△25,718	△78.4	81,541
税金等調整前四半期 (当期)純利益	582,185	1,669,754	1,087,569	186.8	1,046,061
税金費用	271,257	852,407	581,150	214.2	488,545
四半期(当期)純利益	310,927	817,346	506,418	162.9	557,515